



# 国鉄当局の挑発的言動を糾弾!

# 日刊 動労千葉

81.2.14  
No. 658

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(電話)二九三五ノ六(公衆)三三三二七二〇七

## 申一号交渉の席上 助役機関士導入を公言する!

動労千葉は、一月八日、国鉄当局によるジェット燃料貨車輸送延長の強行提案を拒否し、八九日両日にわたる抗議の減産闘争を貫徹し抜き、三月ジェット決戦勝利の陣形を着実に勝ちとりつつある。

こうした中で動労千葉は二月十二日、第四回定期大会決定にもとづいて職場懸案要求をまとめた申一号の第二回交渉を行った。

交渉は、当局側より、動力車乗務員所要計画とりわけ三月一日以降の機関車関係乗務員の操配提案が行われたが、いくつかのやりとりの後、国鉄当局は、「不測の事態」という理由をもつて助役機関士導入の考え方を明らかにしてきたため、こうした当局の挑発的言辭に対し、激しい糾弾が行われた。

### 三月一日以降の要員操配一 現行助勤の延長を提案ノ

国鉄当局の「三月一日以降の乗務員所要計画について、現行特退補充のための要員操配計画をそのまま継続延長されたい」との提案より交渉は開始された。

組合側はこれに対し、大綱次の二点に絞って主張を行い追及を行った。

① 申一号にも列記してあるとおり、八二年三月段階の要員需給展望を明らかにし、運用「改正」時の確認を明確にすべきである。

② 伝え聞くところによると、当局は、今月中に全国からの助役機関士を導入するという動向がみうけられるが、真意はどうなのか。当局は、以上の二点について、次のような解答を行ってきた。

(1) 八二年三月特退時の要員需給については、七八年度予科生、盛岡、仙台口を本年四月帰局とし、直ちに本科入学を行い、八二年三月に間に合わせてゆきたい。

(2) 管理者対応(助役機関士)の問題については、本日提案した操配をもとに団交を重視したい。しかし、不測の事態が想定されるとき、国鉄の社会責任として対処する考えはもっている。

### 管理者導入は、明らかに挑発・挑戦行為だ!

かつて国鉄当局は、三年前ジェット燃料備蓄輸送時に管内・管外の助役機関士を導入した。今日性懲りもなくまたまた助役機関士の二番せんで乗り切らんとしている。

しかも極めて重大なことは、二月十二日の席上、三月一日以降の要員操配を提案し検討してほしいといった矢先に今度は、もし受けられなければ、助役機関士を使うという、動労千葉に対する挑発的行為であるばかりか、今日の労使関係を当局の側が一方的に破壊するという挑戦である。

### 八一・三ジェット決戦破壊を策す あらゆる反動を打ち破れ!

二月十二日の交渉の中で明らかなように、国鉄当局は、動労千葉の三月ジェット闘争を助役機関士を使つてのスト破壊を策動している。われわれはかかる反動を事前に粉碎しなければならぬ。しかも、こうした管外よりのスト破り・助役機関士導入に対し、全く抵抗すらせず、口先ばかりの「ジェット阻止」などといっている動労「本部」の三月スト破壊策動をも粉碎しなければならぬ。三年前、助役機関士・燃料輸送用機関車を送り込むというスト破りを行ない、二年前の増送阻止に対し「ストライキ反対」を叫び、今また動労千葉のスト破壊を目論む動労「本部」反動分子を許してはならない。

理不尽極まる国鉄当局の挑発を許さず、助役機関士導入実力阻止、動労「本部」反動分子による闘争圧殺策動に抗し、動労千葉の総力で闘い抜いていこう。